

# 世界漫遊特集 vol.10 2016年6月号

## 韓国「済州・オルレ」

文・小田原 章

皆さんは「オルレ」を聞いた事があるだろうか？「オルレ」とは韓国の済州が発祥の言葉と言われている。「通りから家の門に通じる狭い路地」という意味を持つ。地元の子どもたちが「オルレに行く？」という風に使うように済州では一般的に使われる馴染み深い言葉である。特にこの言葉は済州の海岸沿いの小さな道をあわせて作ったウォーキングコースに名づけられてから韓国国内で知られるようになった。その後、九州に飛び火し、「九州オルレ」としていくつものコースが出来、日本では九州を中心としてなじみ深いものとなりつつある。



済州島では2007年9月1日に最初のコースをオープンして以降、2013年12月までに総26のコース（本コース21、付属コース5）が作られた。どのコースにも共通しているのは、歩く際に見られる青々とした山や透き通った海、小さな村など美しい済州島の風景が鑑賞できることである。各コースは最短で3時間、最長で7時間ほど歩く。それぞれコースで難易度や趣が異なるので自由に選択して楽しめる事ができる。



また、九州では2016年6月現在、九州各県

にまたがり17のコースが作られている。こちらにも、それぞれに特徴がある趣のある設定となっている。



毎年10〜11月になると「済州オルレ・ウォーキングフェスティバル」が開催される。済州オルレが通る各村では済州の新しい食べどころを利用した多彩な料理や済州の伝統文化を再現した各種公演が準備され楽しませてくれる。二日間開催されるイベントで参加者たちは済州オルレコースを1日1コースずつ歩くことが出来る。多様な文化体験をすることが出来るこのイベントは2010年から始まり6回の開催を誇る。参加費は事前申し込みで20,000ウォン、当日申し込みは25,000ウォンで外国人は当日申し込みのみ可能であるが、年々参加者が増えているため、事前の申込みがオススメである。



訪れた国を肌で感じ体験する・・・。これこそが旅の醍醐味ではないだろうか。済州オルレ・ウォーキングフェスティバルはまさにうってつけのイベントである。美しい海岸線の風景に溶け込むあなたの姿を思い浮かべて、今年は10月21日・22日で開催されるフェスティバルに、是非、ご参加頂きたい。